

相可高新聞かわら版No105

平成25年12月20日
相可高校新聞部
多気郡多気町
相可50番地
TEL0598-38-2811

2
平面
和特集

我が校が誇る シェフ&アスリート!!



長かった2学期も終わろうとしています。今学期も私たちの仲間が、素晴らしい成績を収められました。高校生国際料理コンクール2013で優勝、金メダルを獲得された食物調理科3年生の岡本なつ美さんと佐野竜也君、第68回国民体育大会ハンマー投で優勝された生産経済科3年油谷文月さん、棒高跳5位に入賞された普通科2年中林麻奈さんに、今後の目標などを伺い、また調理クラブ顧問の村林先生と陸上部顧問の渡部先生に、彼・彼女たちの普段の様子も聴かせていただきました。(N.T M.H Y. I)

岡本さんに聞きました

Q. この大会で、自分はどうに成長できましたか？

A. 今回の大会をきっかけに、改めて料理の楽しさを実感できました。これからは積極的に料理の勉強をしていきたいです。



Q. 今回の優勝を将来どのように活かしていきたいですか。また、これからの目標を教えてください。

A. 中学校の頃から海外に興味があり、今回出場した6カ国人達と交流を持ち、いろんな国の食文化を知ることができました。大学に進学し、栄養学と海外の食文化を学ぶ、いろんな国の食事を取り入れた献立を考えることのできる、管理栄養士になりたいと思っています。

佐野君に聞きました

Q. この大会で、自分はどうに成長できましたか？

A. ジョエルブションとクイーンアリスでフランス料理の見学をし、フレンチの良さを知ることができました。先生がおっしゃっていた「コンクールは試合。おいしいものを造り食べてもらう事が大切である。」という事を心掛けて、モチベーションを上げていきました。



Q. 今回の優勝を将来どのように活かしていきたいですか。また、これからの目標を教えてください。

A. 会席料理を扱う料理店に就職します。海外ではまだ、日本食がそれほど広まっていません。学校で学んだことを活かして、もっと和食や日本料理の技術を世界中に広げていきたいと思っています。

* お知らせ *
* 3Hの佐野君と堀口君は、調理技術コンクール東海大会予選を見事に通過され、2月24日から26日の3日間武蔵野調理師専門学校で開催される「第29回調理技術コンクール」への出場が決定しました。こちらも目を離せません。 *

村林先生のコメント



Q. 普段の岡本さん、佐野君の様子を教えてください。

A. 岡本さんはまじめできちりしています。一番信頼がおける生徒です。

また、佐野君は何事にも熱心でコツコツこなすことができます。

また、調理技術も一番です。

油谷さんに聞きました



Q. この大会で、自分はどうに成長できましたか？

A. 私はまだ挑戦者です。もっと自分より上の選手がいます。意識を高く持って努力をしていきたいです。

Q. 今回の優勝を将来どのように活かしていきたいですか。また、これからの目標を教えてください。

A. 優勝したことは過去の事なので、次の目標に向かって行きます。九州共立大学に進学し、陸上競技を続けていきます。4年間努力をして、最後には大学選手権で優勝したいです。

中林さんに聞きました



Q. この大会で、自分はどうに成長できましたか？

A. 1回目、2回目と失敗が続いたけれど、3回目でやっと順位が取れて嬉しいです。

Q. 今回の入賞を将来どのように活かしていきたいですか。また、これからの目標を教えてください。

A. 国体で優勝して、日本一の選手になりたいです。

2B 東 澤さんのコメント

油谷さんは練習をストイックにやっていて、尊敬できる先輩です。私の目標の人です。

渡部先生のコメント

Q. 普段の油谷さん、中林さんの様子を教えてください。

A. 油谷さんは、休日も練習をしっかりとしています。熱心すぎて、ケガをしなれば良いのですが・・・中林さんは指導に素直で一つ一ついいねいに、真剣に取り組める子です。

道路交通法の一部が改正されました

知っていましたか？ **自転車安全利用五則** **自転車は、車道が原則、歩道は例外**

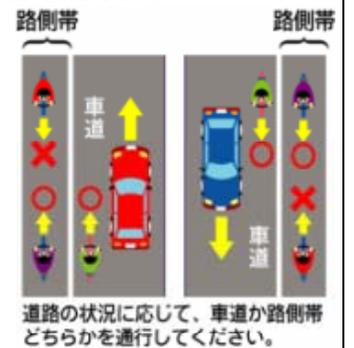
12月1日に改正道路交通法が施行され、今まで認められていた自転車の右側通行が禁止され、自転車は道路の左側部分に設けられた「路側帯」通行に限定されました。

警視庁のホームページでは「自転車安全利用五則」として、以下の5つの点に注意喚起しています。

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
5. 子供はヘルメットを着用

これに違反すると、「3ヵ月以下の懲役又は5万円以下の罰金」が科されます。違反のないように、また事故をおこさないように気をつけてください。

(F.O K.M)



やったぞ新人！料理人への第一歩・・・



12月8日に行われた全漁連主催「シーフードコンクール」に1Hの野崎葉里さんが出品した「三種の魚彩り弁当」が水産庁長官賞を受賞した。タイは天ぷらあんかけ、煮アナゴは太巻き、アジはスコッチエッグにを使った。野崎さんは「まだ2年チャンスがある。今のレベルに満足せず、先輩達のような料理を作りたい。」と、力強く目標を語ってくれました。



祝
国体
ハンマー
高跳5位
優勝
油谷
中林
麻奈

祝
相可高生みんなですごした金メダルだ！
高校生国際料理コンクール優勝

特集

私たちが考える

平和

SPEACES

→ 講話後、下平さんにお礼の言葉を述べる2人

修学旅行で学んだことを

2年生は修学旅行で長崎に行ってきました。長崎は、原子爆弾が落とされた町です。仲間と過ごす時間を楽しみながらも各地で平和学習を行う中で「平和」について改めて考えた旅でした。そして今回新聞部では「平和」について特集したいと考えました。皆さんが「平和」について考えるきっかけに少しでもなればと願っています。まずは修学旅行で学んできたことの一部を紹介します。



立てた足は救った命を表し、軽く閉じた目は原爆犠牲者の冥福を祈っている。

→平和の泉にて献水

水を求めて亡くなっていった犠牲者を慰霊しようと平和の泉が造られた。当時9歳の少女の手記が刻まれている。(S.M)

平和公園

←平和祈念像

～右手は原爆の脅威、左手は平和～

平和公園には神と愛と仏と慈悲を表した平和祈念像があり、多くの人々が訪れる。修学旅行でもここでクラス写真を撮影した。この像は右手を垂直に高く上げ、左手は水平に伸ばしている。右手は原爆の脅威を表し、左手は平和を意味している。横にした足は原爆投下直後の長崎の静けさ、



平和講話 私の被爆体験

下平作江さん～生きる勇気を選んだ人生～

修学旅行1日目の夜、下平作江さんから貴重な戦体験談を伺った。当時下平さんは小学5年生。貧しい生活で白いご飯さえ食べられない生活だった。現代の生活では考えにくいことだ。原爆が投下された後、みんな真っ黒焦げ、死体だらけの中、家族も亡くなり、妹と2人きりになってしまった。なんとか生きていくも、妹の体は腐っていき、うじ虫が沸き肉を食っていく。そしてつらくて妹は列車に飛び込んでしまった。本人確認ができない状態でもこの体は妹だとその腐った体を引き取った。他にも衝撃的で悲惨な話が続いた。そしてひとりぼっちになった下平さんは死のうと考えたが、今は生きていて良かったと思う。皆も生きる勇気をもって絶対死ぬことはやめてほしい。そして頑張って平和を築いてほしい。二度と同じ苦しみ味わうことがないように助け合ってすばらしい世界を作ってくださいと語った。(A.T)



加害者である歴史も

中村訓先生

～長崎平和資料館を訪ねて～

中村訓先生は修学旅行中に達先生と長崎駅近くの長崎平和資料館を訪れた。ここは日本の侵略と戦争による外国人犠牲者の方々の資料館である。日本が戦争の加害者でもあったことも忘れてはならない。

中村先生は「やはり、長崎の平和資料館にしかないものが伝わった。人は善悪両面を持ち、不完全であるがゆえに、加害者にも被害者にもなり得る。だからこそ、愚かさの記憶をつなぐ努力を怠ってはいけない。都合のよい歴史だけが記憶され、各国の歴史観の違いの議論だけに拘泥してはいかない。心に響くことがあるので、機会があればぜひ一度ここに行ってみてほしい。」と熱く語った。ちなみに中村先生は今年8月に第二次大戦中、ユダヤ人強制収容所であったアウシュビッツ（ポーランド）も訪れている。(K.H)

2年生にアンケート ～平和について考えよう～

2年生に協力していただき、平和についてのアンケートを行いました。その結果と意見を紹介します。たくさん意見を書いてくださりありがとうございました。(S.M K.H A.T)

問1 日本は平和だと思いますか。

はい (195人) 76%
いいえ (61人) (回答257名) 24%

どちらでもない1名

はいの意見

- ・戦争も貧困もないから。
- ・おいしい物が食べられて、着たい服を着て自由に生活できるから。
- ・日本の拳銃所持率は世界で最も低い。世界の国を見渡したとき日本は最も安全に暮らせる国の1つだと思う。

いいえの意見

- ・戦争はしていないけど、でも殺人や不審者などの問題があるから。
- ・単純に周りを見たら治安もいいし、現状を見たら平和だと思うかも知れない。でももっと深いところまで目を向けると環境破壊のこと、宮城県のこと、政治のこと、問題はたくさんあるのでは。

平和学習を通しての意見

- ・なんで戦争なんかするのだろう。意味があるのだろうかと改めて考えさせられた。
- ・戦争をしたがっている人に、戦争の恐ろしさを伝えた方がいいと思う。
- ・今は平和に暮らしているけど、この暮らしはいっぱいの苦しい出来事、犠牲の上に成り立っているんだということを忘れずに過ごしたいと思いました。
- ・今の世界には平和を作るため、戦争を抑止するため爆弾や核を所持する国がある。しかしそんな物に頼った平和は本当の平和じゃない。核を捨て、すべての人が手を取り合える日。それが本当の平和だと思う。
- ・恐ろしいと思うものは来世に語り伝えなければならぬ。伝えるのにすごく勇気があるけれど、二度と起こらないためにも当時の人の思いを正面から受けとり、その気持ちをまた来世に伝える。それが戦争で亡くなられた方への供養になると思います。
- ・戦争の恐ろしさを後世に伝えていくことが大切だと思う。これから社会に出て行く僕たちが、日本を支え、良いように変えて行けたらと思った。

問2 世界は平和だと思いますか。

はい (14人) 1%
いいえ (241人) (回答257名) 99%

どちらでもない2名

いいえの意見

- ・戦争や核問題があるから。
- ・飢えに苦しむ人がいるから。
- ・テロなどが起きているところもあるし、普通の生活を満足にできない所もあるから。

意見のまとめ

日本は平和である。世界は平和とは言えないという意見が圧倒的だった。自分たちは平和な国で過ごしているが、世界にはそんな暮らしができない人たちがいる。では私達は何をすべきなのでしょう。

平和とは?あなたの意見を教えてください。

- ・戦争のない世界。
- ・すべての人々が笑顔で暮らせる明るい社会。
- ・周りの人を思い合って相手を尊重できる心を持つこと。
- ・皆が喜怒哀楽を感じることができること。
- ・国と国とが利益目的だけでなく協力しあえること。
- ・思いやり。

語り継ぎたい「思い」

被爆体験を語ってくださった下平さんは現在78歳。高齢になっても講演を続けている。その思いを聞いた私達に何ができるだろうか。終戦から68年経った今、戦争の実体験を語ってくれる人は少なくなっている。アンケートでも平和とは、自分だけ、日本だけではなく、世界中が平和になってこそ願っている意見ばかりであった。世界で唯一の被爆国に生きる私達、左記の意見にあるように、まずは知り、考え、そして伝えていくことが大切なのではないか。身近なところから、自分にできることをやっていくことが、平和につながっていくのではないのでしょうか。

～編集後記～ 今回、長崎に修学旅行に行き、原爆の学習を中心に実際の写真や様子を見て、人を簡単に死なせてはいけない、もう二度と戦争などしてはいけないと改めて実感しました。悲しい気持ちになったけれど、深く心に刻まれました。これからもこのことを忘れずにいたいと思います。(S.M K.H A.T)